

はじめに

英語教育センター長 安藤公仁

『Shoin ELTC Forum』は、樟蔭学園で英語教育に携わっている全ての人のための「実践報告の場」「情報発信の場」「意見交換の場」として活用していただくことをめざし発行されました。そのため、当初、樟蔭学園内部の冊子として300冊印刷する予定でしたが、昨年度末の英語教育センター運営委員会での菅正隆教授のご助言もあり、急遽1000冊に増刷し、広報活動や講演会などで配布していただきました。そのお陰で、この冊子も広く外部の英語教育関係者や学校関係者に周知されるようになり、樟蔭学園の英語教育も徐々に注目されるようになってきました。

さて、学校法人樟蔭学園英語教育センターの設立から4年が経過しました。この間、中高一貫教育コースのための英語教育プログラムの研究・研修、高等学校進学コースの英語科教員による改善チーム会議の発足、児童教育コースの生徒と希望者を対象に実施されたEnglish Camp、海外研修の生徒のための事前研修など、英語教育センターが関わってまいりました。また、今年度新たに、Kids Englishを大学の国際英語学科との共催で実施し、今後につながる大きな成果を上げることができました。

英語教育センター主催ワークショップでは、文部科学省初等中等教育局国際教育課外国語教育推進室長 田淵エルガ氏をお招きし、我が国の外国語教育の現状とこれから学校教育に求められる英語教育について、グローバルな見地から講演していただきました。この冊子にもその時の講演の資料を巻末につけています。

我が国の外国語教育の施策はどのようなもので、どんな日本人を育てようとしているのかを見極め、樟蔭学園の英語教育に関わる者がしっかりとしたビジョンを持って日々の教育活動に携わることが大切です。文部科学省が提唱する「我が国の外国語教育」という大きな流れの中で、樟蔭学園の英語教育が今後どの方向に向かうべきなのか、この冊子がひとつの指針となるのではないのでしょうか。

この第2号が創刊号と同様に、幅広い方々に読んでいただけるよう願ってやみません。